

令和6年3月市長定例記者会見

日時：令和6年2月29日（木） 午前10時30分～

場所：射水市役所会議室401

報道出席者：北日本新聞、富山新聞、読売新聞、北日本放送、富山テレビ放送、
射水CATV、庄東タイムズ・ホットライン小杉

当局出席者：市長、企画管理部長、財務管理部長、企画管理次長、
生活安全課班長、政策推進課長、市民生活部副参事（市民活躍・文化課長）

Q1. 避難行動を把握するアンケートを実施するとのことだが、その内容を教えていただきたい。

A1. アンケートは、3月の市報と同時配布することになっている。内容は、能登半島地震が発生した際にどのような避難行動をとられたかを伺うものだ。実際のアンケートは後ほど確認していただきたい。

Q2. アンケート結果を今後どのように反映していくのか。

A2. 今回の震災で津波警報が発令され、市民の皆さんは避難行動をとられた。様々な避難所で混乱が発生したり、避難に時間を要したりしたことから、皆さんの行動を把握し、市でもそれぞれの避難所で起こった内容などをしっかり分析して、今後の災害対応、災害に向けた備えをしていきたい。

Q3. 「射水寄ってかれクーポン」について、始まりは3月上旬とのことだが、具体的にいつから始まるのか。

A3. 県の応援クーポンと期間を合わせる予定だ。終了は、県と同様の4月27日（土）とする。始まりの時期については、3月上旬ということで、議会の議決もいただいたため、速やかに実施したい。

Q4. クーポンのスタート告知はホームページで行うのか。

A4. 市ホームページなどでお知らせする。参加加盟店などについては既に

協議されている。

Q 5. 参加店は希望すれば、参加できるのか。

A 5. 観光協会などからお知らせし、参加意思のあるお店などは既に希望をいただいている。期間中に参加したいというお話があれば、担当課でも対応していく。

Q 6. 県から一部損壊の住宅支援について発表されたが、現段階で予定されているもの、実施を検討している支援があれば教えていただきたい。

A 6. 木造住宅の耐震改修支援事業の液状化対策に対する拡充に関する質問と推察するが、これは元々木造住宅の中で耐震性能を有していない、昭和56年以前に建築された建物の耐震化を図っていく事業である。今回の液状化の影響により、被災した建物を耐震条件を満たすように改修する際に適用すると認識している。罹災証明で準半壊以上の判定であれば、耐震診断をした上で、新耐震基準で建築された木造住宅も対象にするため県から打ち出されたと思っている。

一部損壊については、居住するために補修が必要だが、全壊や半壊と比べて軽微なものもあり、被害の状態が幅広い。県から制度の概要は示されたが、詳細はまだ示されていないため、引き続き県からの情報を注視していく。また、県から示された内容は、個別の宅地ごとに所有者が実施する液状化工事に対する支援である。市としては、引き続き、道路と道路に隣接する宅地を一体的に実施する、面的な液状化対策について、国や県と連携し、予算規模や財源など、現実的な方策の調査について研究を進めていきたいと考えている。

Q 7. 2日に開催されるアランマーレ富山のパブリックビューイングについて、現在のアランマーレの活躍をどう見ているか、また、来場を呼びかけるようなコメントもいただきたい。

A 7. 3月2日に「オレンジキャンペーン in 射水」の取組の一環として、富山県立大学の大講堂でパブリックビューイングを開催する。アランマーレ富山は、現在リーグ順位が暫定4位である。上位4チームまでが最終の

トップを決めるプレーオフに進出ができ、その4位ということで進出圏内にいる。2日に対戦するイズミメイプルレッズは現在リーグ暫定6位で、近い順位のチームと対戦することになる。相手チームも上位に上がっていくために、かなりモチベーション高く試合に臨んでいると想定される。アランマーレもそれに負けることなく、しっかり勝利していただきたい。パブリックビューイングで画面越しにはなるが、たくさんの方にご参加いただき、勝利を掴めるような熱く大きな声援を送っていただきたい。

Q 8. 来年夏の参院選に向けて、自民党氷見市支部から堂故氏の公認申請が出された。参院選を巡っては、市長の任期が来年秋までということで、名前が挙がる1人だと思う。今回堂故氏の公認申請が出されたということに対する感想と、現在市長自身が置かれてる状況をどう受け止めているか。

A 8. 堂故先生が来年の参議員選挙の再選を目指して、自民党氷見市支部から公認申請が県連に挙げられたことは、報道の通りだ。堂故先生は国土交通省副大臣として、能登半島地震によって被災された状況の中、復旧・復興に向けて非常に力を注いでおられ、副大臣という大きな役職をしっかりと果たしていただいていると考えている。再選に向けて氷見市の自民党支部から公認が挙げられたということは、氷見市支部が判断され、それを受けて自民党県連が判断されると考えている。

私の任期が来年に迫っており、国政転出の話が出ていると思われるが、今の立場として私に課せられた職責は、市民の皆さんの生命・安全を守る、また幸せをしっかりと実現をしていくことだ。さらに、この震災によって多くの被害が発生し、現在でも困難な状況に市民の方も直面しておられる。まずは生活再建支援、災害からの復旧・復興に全力を傾注していくことが私に与えられた使命である。そういった中で、堂故先生にもいろいろご支援をいただく必要もあると思っている。市民の皆さんと力を合わせながらこの困難な状況をしっかりと乗り越えていければと考えている。

Q 9. 市報の3月号の表紙が、市出身の高松さんが手掛ける『スキップとローファー』である。あまり見かけない表紙だと思うが、これまでも取り組んだことがあるのか、実現した経緯を教えてください。

A 9. 3月号の市報は、『スキップとローファー』という漫画を取り上げた表紙になっている。作者の高松美咲先生は、射水市のご出身で、アニメ化もされ、漫画の分野で大変活躍されている。ぜひ市民の皆さんに紹介し、みんなで応援する機会になればと、昨年の秋頃から講談社に依頼して企画を進めてきた。当初は2月号の市報の表紙に掲載を予定していたが、震災を踏まえて2月号の掲載を見送り、3月号で紹介することになった。

この作品の主人公は、漫画では地名は変えられているが、珠洲市出身という設定で、東京の高校に進学して活躍する内容だ。今回の震災に非常に縁がある作品ということもあり、震災後に高松さんにお願ひし、被災地を元気づける直筆のお見舞いコメントを書いていただき、掲載することができた。

また3月は子どもたちにとって、卒業などの新しい一步を踏み出す時期でもある。高校生になって新しい仲間との学校生活を通して成長していく姿が、この作品の中では描かれており、未来に向けて活躍していく子どもたちを応援したいという趣旨もある。

Q 1 0. 出来栄えはどうか。

A 1 0. 市報でこのような取組は、珍しいと思っている。本市出身で頑張っておられる高松先生をぜひ市民の皆さんにも知っていただき、応援できればと思う。また、被災地への応援として、能登の景色が描かれたポストカード付きの単行本は、利益を被災地に全額寄付される。被災地の支援にも繋げ、また子どもたちも作品に書かれた主人公のように、元気に新生活・高校生活で活躍していただくきっかけになればと思う。

Q 1 1. 地震被害の復旧はどのぐらい長期化しそうか。

A 1 1. 現在でも罹災証明の申請受付に、日々多くの方がお越しになっている。現地確認も引き続き行っており、新たに半壊と判定される世帯も出てきているため、民家の被害状況の全容把握はもう少しかかると思っている。また、農業施設の被害は、これから用水などに通水しないと被害の状況が把握できない。今期については、作物などの栽培が終わった後でないと復旧工事ができない場合もある。これらを考慮すると、実際に復旧・復興を完了するのはかなり時間がかかると思っている。他にも

下水道施設などの被害状況の順次把握に努めているが、かなりの区間が復旧対象になると考えている。

フットボールセンターも被災し、市議会では調査、測量などに関する予算を議決していただいた。速やかに被害状況を把握し、国と協議しながら実際の復旧工事にあたっていくことになる。かなり時間がかかると考えている。

Q 1 2. 「のるーと射水」の本格運行について、今後エリア拡大をする予定はあるのか。

A 1 2. 「のるーと射水」は、昨年の秋に実証運行したエリアで本格運行する。新年度においては、北東エリアで実証運行をしたいと考えている。昨年の実証運行と同じように利用状態、利用者の声を伺い、本格導入に向けた課題の把握と可能性を踏まえ、本格導入のエリアを広げるかどうかを考えていきたい。

Q 1 3. 「のるーと射水」は、本格運行するA I オンデマンドバスとしては市で初か。

A 1 3. そのとおりだ。

Q 1 4. 参院選に向けた話が進むと思うが、現時点で市長に対して、地元や支持者から国政進出を期待する声を聞いたことはあるか。

A 1 4. 国政進出への考えやアクションを起こさないのかという話は聞いたことはある。ただ、その声の多さ、強さ、熱意はどの程度なのか把握していない。

Q 1 5. 現時点での下水道施設・農業施設への具体的な被害状況を教えてください。

A 1 5. 下水道の施設については、かなりの件数が上がっている。海王町において、地盤沈下、公共樹の破損による汚水の溢出、マンホールの浮上による管路の継ぎ手のずれが発生している。大門地区では、道路の陥没、

下水道の本管のたるみで流れにくい状態になっている。これら市内複数の箇所では報告されている。

農業施設については、全容把握できてない部分もある。現在把握できているのは、JAいみず野共同利用施設で、大豆の乾燥調製施設のベルトコンベアの損壊、小杉カントリーコンプレッサーの損傷がある。その他農業施設については広いエリアにおいて、水路のずれ、田んぼが液状化で隆起・沈下し、砂が流入した。農道も隆起・陥没によって損傷している。件数は、資料で確認していただきたい。

Q 1 6. 高岡市の伏木地区では、下水道や道路の復旧に1年以上かかるという話があった。今の状態の場合、射水も1、2年かかるのか。

A 1 6. 被害の程度、被害数、エリアの広さを考えた時に、全体の復旧を完了するにはかなりの時間を要すると思う。特に液状化の発生が顕著だったエリアには、県の制度で、個々の被災住家を復旧する支援メニューが出てきた。道路とそれに面する宅地を面的に液状化対策することについては、どういう工法が適しているのか、必要となる財源はどれくらいか、国や県、専門家の方からのお話を伺いながら研究中であり、その取りまとめもまだもう少しかかると思っている。それを取りまとめた上で、地域の皆さんにご説明しながら、予算的な部分も含めて実施可能かどうか相談していくことになれば、そこからさらに時間がかかる。今の見込みでいうとどれくらいかかるか全くわからない。

Q 1 7. 射水で活躍してる人を応援するために、今後も市報で積極的に紹介していくのか。

A 1 7. 機会をいただけるのであれば、紹介もしていければと思う。例えば、オリンピックで金メダルを獲得された田知本遥さんもかつては取り上げたことがある。本市出身で活躍されている方も機会があれば、取り上げさせていただき、市民の皆さんと応援する機会に繋げていければと思う。

Q 1 8. 参議院選について、自民党から応援をもらうには期限が迫っている。現時点での思いを教えてください。

A 1 8 . 私 が 今 置 か れ て い る 職 責 は 、 か な り 重 い も の と 思 っ て い る 。 こ れ を し っ か り 果 た し て い く こ と が 一 番 大 き な 責 任 で あ る 。

Q 1 9 . ど ち ら か と い う と 、 市 長 を 続 け て 頑 張 っ て い き た い の か 。

A 1 9 . し っ か り 復 旧 ・ 復 興 に 向 け て 、 全 力 を 傾 注 し て い く 。

Q 2 0 . 参 議 院 選 に 出 馬 す る と な る と 、 市 長 を 辞 任 し な い と い け な く な る 。 ま ず は 市 長 と し て の 任 期 を 全 う す る の か 。

A 2 0 . そ れ は 仮 定 の 話 あ り 、 ま ず は 与 え ら れ た 任 期 の 責 任 を 果 た し て い く と い う こ と が 第 一 だ と 思 っ て い る 。